

交通安全教室を実施！～「紙芝居」で交通ルールの大切さを学びました。指導員さんの腹話術でライト君と友だちになりました。～ <6/7>

6月7日(月)の10時30分から、本園遊戯室で「交通安全教室」を行いました。講師の先生は、真岡市役所市民生活課の高木さんです。



初めに、園児たちの緊張を解くため、手遊び歌の中でも特に有名な「グーチョコキパーで何作ろう」を一緒にやりました。子ども達に一番うけたのは、「右手チョコキで、左手がグー」で作った「アイスクリーム」です。子ども達も初めて聞くバージョンで、美味しそうにアイス食べていました。そして、「交通安全には右手はとても大切。右手をパーにして高く上げるのはどんな時？」と聞かれると、「横断歩道を歩く時。」とすぐに反応できた子もいました。そして、道路を渡る時は、「右手を挙げ、右を見て、左を見て、また右を見て」安全であることを確かめることが大切だということをお伝えいたしました。



次に紙芝居「ストップ！パンダちゃん」を見ました。「パンダちゃんはペンギンさんとコアラちゃんとピクニックへでかけます。お弁当を忘れたパンダちゃん。お母さんがあわてて届けてくれます。嬉しくてママの方に行こうと道路渡ろうとするパンダちゃんに、ママが「ストップ！」道路を横断するときは……。このように、道路には危険がいっぱい。この紙芝居から「交通のお約束を守る」ことの大切さを学びました。「ストップ！」を合言葉に、「道路は右側を歩く」「横断歩道を渡る時は、『手を挙げ、右・左・右を見て安全を確認してから』渡る」など、この紙芝居から「交通のお約束を守る」ことの大切さを学びました。さらに、車に乗るときは、「しっかりとシートベルトをする」ことが大切であることも学びました。

次に指導員さんが出したのは「傘」です。傘の持ち方や、雨の日の道路の渡り方などを教えていただきました。傘を開くときは、友だちが近くにいないことを確認すること、閉じた傘は歩くとき振り回したり引きずったりしないことも教えていただきました。



最後に「人形のライト君」の登場です。ライト君は外国人。挨拶も「ハロー、マイ ネイム イズ……。日本語もできるけど、「みんな、いただきます」などと意味不明な日本語を話すので会場は爆笑に包まれました。腹話術で、ライト君と絶妙なやりとりをして園児たちを引きつける高木さんの話術のすばらしさにビックリしました。「飛び出しは絶対ダメ」「道路では遊ばない」「横断歩道を渡る時は左右確認をして右手を高く挙げて」など、交通安全の基本的ルールを楽しく学ぶことができました。

【写真】……(1・2段目)「グーチョコキパーで何作ろう」で、チョウチョやカタツムリを作っている様子。指導員さんと一緒に楽しく手遊び歌をすることができました。(3・4段目) 紙芝居「ストップ！パンダちゃん」で、「交通ルール」の大切さを学びました。真剣に指導員さんのお話を聞くことができました。また、「傘」の正しい持ち方など(「振り回さずに、片手で持つ」「横断する時は、傘を少し上げて合図を送る」「長靴は底がギザギザのすべらないものがよい)も学びました。(5段目～)「ライト君」登場。高木さんの腹話術の見事なこと。子どもたちをとりこにしてみました。最後に「手を挙げて、横断歩道を渡る」時の練習をしました。しっかりと手を挙げ足踏みをしています。Good！1時間という長い時間の講話でしたが、しっかりとお話を聞くことができました。素晴らしい！

